

植田正治の印籠カメラ写真帖

3月1日(木) — 6月3日(日)

1995～1997年の3年間にわたり、雑誌『アサヒカメラ』に連載されたシリーズ〈印籠カメラ〉は、35mmコンパクトカメラ(ペンタックスのエスピオミニと、フジのカルディアミニティアラ)で撮影されたものです。植田は、日常気軽に持ち歩き、すぐに取り出してシャッターを切れることから、これらを「印籠カメラ」とユーモアを込めて呼び、この時期に愛用しました。



シリーズ〈印籠カメラ〉より 1995年～97年

「EEカメラは、わずらわしい操作はすべてカメラまかせ、全神経を対象に集中できる最大の魅力を持っています。しかし、それにしても、なんて、いい加減にシャッター切っていることの多いことか。」と植田は語っています。(写真作法『アサヒカメラ』1974年6月号より)

当時植田は、コンパクトカメラの便利さを認めながらも、その機能に頼り慣れてしまうことを好まなかったのですが、それらを手にしてからは、山陰でも東京でも様々な被写体に意欲的にカメラを向けています。散歩途中に出会った風景や事物、そして自身の入院生活に至るまで、身構えることなく写真に収めています。また、撮影の様子や心象などが綴られたエッセイからは、自由な感覚で写真を楽しむ写真家の姿が感じられます。

今回の展覧会では、1990年代に撮影されたシリーズ〈印籠カメラ〉を、エッセイとともに紹介・展示します。

ご来館の際には町民無料招待券を切り取ってご利用ください。

◆開館時間：9：00～17：00（最終入館は16：30）

◆休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）※ただし、5月1日は開館します。

問い合わせ先 伯耆町立植田正治写真美術館 ☎39-8000
メール bijyutsukan@houki-town.jp

森田	柴田	釜田	昌子	北尾
隼輔	亜絃	陽奈心	颯真	琥珀
男	男	女	男	男
誠人	陽一	直樹	早苗	晋梨
庄	福岡	二部	大殿	岸本



町民無料招待券

本券を切り取ってご利用ください。

植田正治の 印籠カメラ写真帖

平成24年3月1日(木) — 6月3日(日)
9:00～17:00(最終入館は16:30) 火曜日休館(祝日の場合は翌日)

※本件1枚ご持参で1世帯様無料でご覧いただけます。
伯耆町立植田正治写真美術館 伯耆町須村353-3
TEL 39-8000 FAX 68-3600